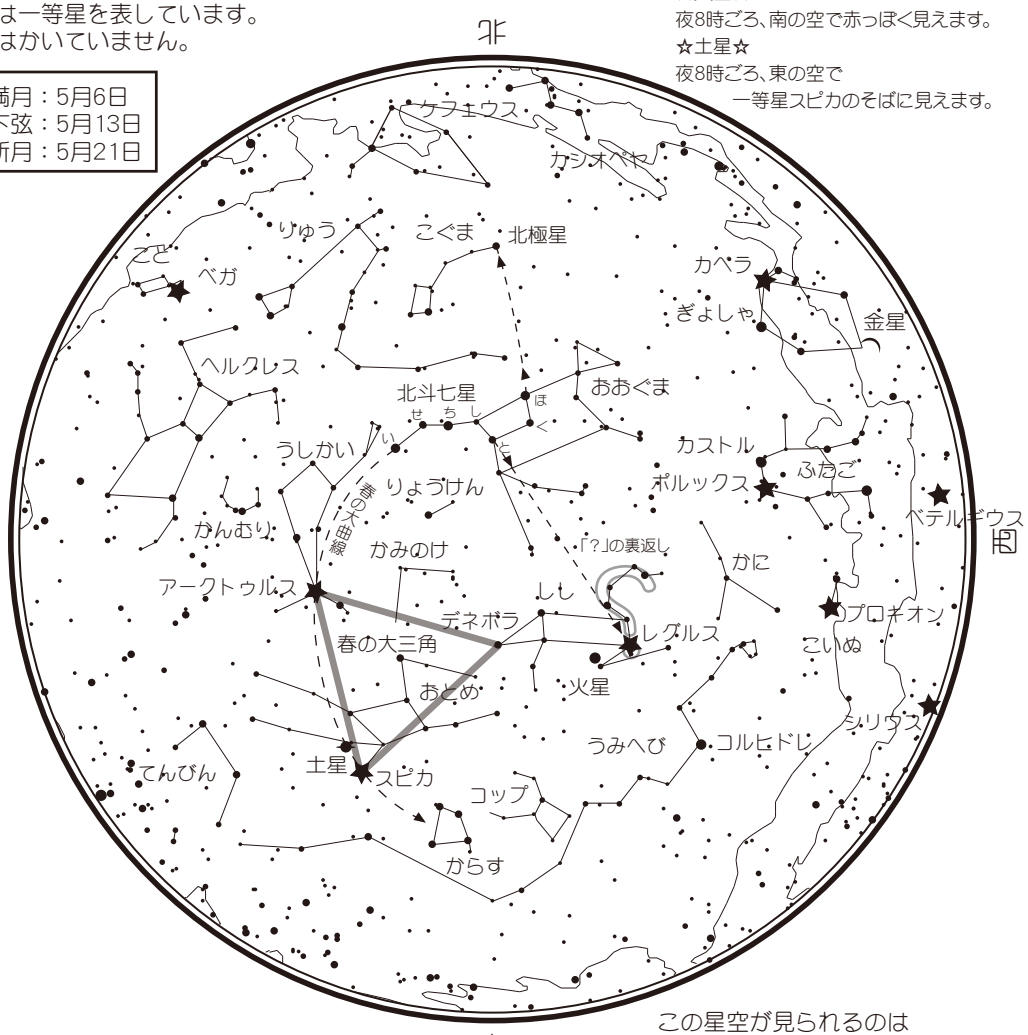
★ 姫路で見る5月前半の星空 ★

姫路科学館
Himeji City Science Museum

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆金星☆
夕方、西の空で一番明るく見えます。
☆火星☆
夜8時ごろ、南の空で赤っぽく見えます。
☆土星☆
夜8時ごろ、東の空で
一等星スピカのそばに見えます。

満月：5月6日
下弦：5月13日
新月：5月21日



2012 SPRING

この星空が見られるのは
2012年5月5日午後9時頃
2012年5月20日午後8時頃です

春の夜空では7つの星がひしゃくの形に並んだ「北斗七星」が、星座の場所を教えてくれます。
北斗七星はおおぐま座のしっぽの星で、ひしゃくの器の「く」と「ほ」の星を結んで北側にのばすと、北極星が見つかります。一方、「し」と「と」の星を結んで南側にのばすと一等星レグルスが見つかります。そこから「?」の裏返しや二等星デネボラを目じるしに、しし座の姿を想像してみて下さい。
今度はひしゃくの柄の部分を、カーブにそって延ばして「春の大曲線」を描いてみましょう。うしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカを探す目じるしです。2つの一等星としし座のデネボラを線で結ぶと「春の大三角」のできあがりです。
南の空には、4つの星が四角に並ぶからす座や全天で一番の大きさを誇るうみへび座が見えます。暗い星が多いので、あかりの少ない場所におでかけして探してみましょう。

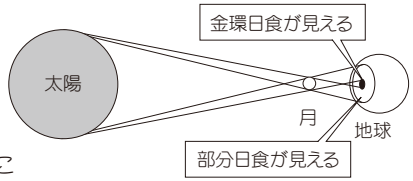
5月21日(月)　姫路で部分日食を見よう!

今年一番の天体ショー

2012年5月21日(月)日本で日食を見ることができます。

日食ってどんなもの？

太陽と月と地球が一直線に並んだ時に起こります。
地球から見て、太陽の前を月が通過する現象です。
月に隠された部分は見えなくなり、隠されなかった部分の光だけが見え、まるで太陽の形が変わってしまったように見えるのです。



今回は月の見かけの大きさが太陽よりもわずかに小さく、隠しきることができません。そのため、太陽の光が金の環(わ)の様に見える「金環日食」になります。
見られる地域は限られており、姫路では太陽が大きく欠ける部分日食になります。

いつ見えるの？

5月21日(月)の朝に起こります。

6:17　食の始まり
7:30　食の最大
8:53　食の終わり

姫路の見え方(イメージ)

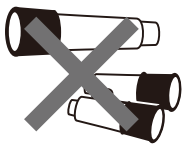
午前7:30ごろ　食の最大
(食分:0.93　面積比:0.88)
東の空　高度:約30度

この時間に、東の空を見てみましょう。
食の最大時で太陽の高さは30度ほどです。
高い山がなく、地平線あたりまで見える場所がオススメです。

見るときは安全な方法で！

太陽をそのまま目で見ると、「日食網膜症」という目の病気になる危険があります。
専用の太陽観察道具などを使って見るようにしましょう。
また、専用の道具がなくても楽しむ方法はいろいろあります。

☆専用の観察道具
・日食めがね
・ピンホールカメラ



望遠鏡や双眼鏡で
太陽を見ないで！

くもりの時も、
目で見てはいけません！

☆道具がなくても楽しめる観察方法
・木漏れ日を観察しよう!
　太陽の形の変化がわかります
・鏡で太陽光を反射させてみましょう
　光が太陽の形に見えます